

# 山元町 <sup>いぬづか</sup> 犬塚遺跡 現地説明会について

山元町教育委員会生涯学習課

このことについて現地説明会を下記により開催しますので、ぜひ御来場下さい。

## 記

- 1、日 時 平成 27 年 7 月 25 日（土） 午前 10 時 30 分から
- 2、会 場 犬塚遺跡発掘調査現場  
亙理郡山元町坂元字犬塚（別添地図参照）  
（駐車場は坂元中学校をお借りしています。）
- 3、調査主体 山元町教育委員会
- 4、調査協力 宮城県教育委員会・(株)日建
- 5、概 要

### （1）調査の理由

山元町教育委員会では、土砂採取事業に伴い、事業計画地内に所在する犬塚遺跡について平成 27 年 1 月より本格的な発掘調査を実施しております。現在継続して発掘調査中ですが、その調査成果の一部がまとまりましたので、現地説明会を開催いたします。

### （2）調査の成果

今回の調査では、飛鳥時代から奈良時代にかけての住居跡 17 軒、<sup>せいてつろ</sup> 製鉄炉 4 基、<sup>もくたんがま</sup> 木炭窯 5 基、<sup>しょうせいどこう</sup> 焼成土坑 24 基などが発見されました（7 月 17 日現在）。

<sup>はこがたろ</sup> 製鉄炉は古代に属するもので、長方形の箱形炉と考えられます。製鉄の際に排出された<sup>てっさい</sup> 鉄滓が現在でも地表面に露出し、山となっている状況が見られます。また、製鉄炉に使用した木炭を作ったと考えられる木炭窯や焼成土坑も発見されており、木炭窯は急斜面を利用して窯が作られています。

これらの製鉄関連遺構は、福島県浜通り地区を中心として見つかっており、近年宮城県教育委員会が調査を行った犬塚遺跡や、町内の<sup>しんなかながくぼ</sup> 「新中永窪遺跡」、<sup>かつせんはら</sup> 「合戦原遺跡」、<sup>かみみやまえ</sup> 「上宮前北遺跡」でも発見されています。これらの時期を見ると 7 世紀の後半頃から出現し、9 世紀代には山間に入っていくという浜通りとの共通性が認められます。

犬塚遺跡の北西側丘陵には、古代の<sup>かんが</sup> 官衙関連遺跡である<sup>くま さく</sup> 「熊の作遺跡」が位置しており、建物群が 7 世紀後半頃から出現してくることから、地域の製鉄関連を掌握していた官衙である可能性が指摘されており、当遺跡も関連が深いと考えられます。また、これらの遺跡で生産された鉄は、<sup>えみし</sup> 対蝦夷用として<sup>たがじょう</sup> 多賀城に運ばれて用いられたと考えられており、地域の古代史を考えるうえで、貴重な発見と言えます。

★問い合わせ 山元町教育委員会生涯学習課 TEL：0223-37-5116

（発掘調査担当：生涯学習課 <sup>たんの</sup> 丹野 現場携帯 080-2813-0863）